



2023年8月8日

各位

会社名 サイバートラスト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 北村 裕司  
(コード番号：4498 東証グロース)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也  
(TEL 03-6234-3800)

## 2024年3月期第1四半期決算に関する質疑応答集2

当社の2024年3月期第1四半期決算に関して、これまで株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせに対して回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。  
なお本開示はご理解を一層深めることを目的に、一部内容・表現の加筆修正を行っております。

**Q1 Linux/OSS サービスは、第4四半期以降にCentOS 延長サポートが集中する計画のため、全体の業績は第3四半期まで、前年同期比の成長は弱くなる見込みでしょうか？**

**A1 Linux/OSS サービスのCentOS 延長サポート以外の各サービスは前期同様に伸長することを見込んでおります。**

具体的には、高成長牽引サービスの iTrust・EMLinux を中心にリカーリングサービスが四半期毎に積み重なり、IoT サービスのプロフェッショナルサービスが第1四半期は好調に推移しており、より案件が集中する下期以降はさらに伸長する見込みです。

そのため、全体の業績は第3四半期まで前年同期比で弱い状態が続くのではなく、**四半期毎に前年同期比で成長が高まる形で推移することを見込んでおります。**

なお、第3四半期までCentOS 延長サポートのビジネスに向けパートナー様との連携強化、AlmaLinux OS への移行支援の準備等取り組んでまいります。

**Q2 Linux/OSS サービスは、第4四半期以降にCentOS 延長サポートが集中する計画ということですが期ずれのリスクはどのように考えられますか？**

**A2** 今期第4四半期以降に集中するCentOS 延長サポートについては、2024年6月にCentOS7のコミュニティサポート終了が予定されていること、前回の2021年12月のCentOS8のコミュニティサポート終了に伴うCentOS 延長サポートの取引実績があること、具体的な引き合いも含め現在も問い合わせが増加傾向にあることから考慮して、**前回同様にコミュニティサポート終了の半年前より延長サポート申込みが増加する見込みです。**またパートナー様との連携強化の取り組み等販促活動もこの商機をターゲットに開始していることから現時点において期ずれはないと考えております。

**Q3 CentOS7のコミュニティサポート終了に伴うビジネスとしては、当社がCentOS 延長サポートを提供すること、CentOSの後継OSとしてAlmaLinux OS、MIRACLE LINUXを提供し、そのサポートビジネスを狙う動きがこれから活発になるという認識でよかったですでしょうか？**

A3 ご認識の通りです。

一つ目に、現在の CentOS のシステムを当面維持運営予定のお客様には、CentOS 延長サポートをご提案することで今期第 4 四半期以降の本格的な収益貢献を見込んでおります。CentOS 延長サポートは、2024 年 6 月 CentOS7 サポート終了に伴い後継 OS への移行が困難なお客様に対して、現在の環境を延長して継続利用可能にするサービスです。お客様側での後継 OS への移行作業は一定期間の準備、コストを要するため、延長サポートの更新年数も複数年に渡り、ニーズが数年継続しつつ、移行が徐々に進むとみています。

二つ目に、CentOS7 の後継 OS として AlmaLinux OS の採用が有力とみており、CentOS7 延長サポートのお客様への移行支援のプロフェッショナルサービスおよび、移行後の AlmaLinux OS を長期的に安心して利活用可能にする 16 年サポートやセキュリティ関連の高付加価値サービスをパートナー様と連携し積極的にご提案することにより、継続的なサポートサービスを成長させる計画です。

MIRACLE LINUX は、従来通り提供を継続しており、CentOS から移行するお客様も含めて、サポートサービスにより収益拡大を目指しております。

以上の両面の展開をパートナー様と協業拡大することにより、大手企業のみならず、潜在顧客が多い地方や中堅/中小も含めた市場に対して販促活動を行うことによりリカーリング売上拡大を推進いたします。

Q4 認証・セキュリティサービスでは、戦略的にリカーリングサービスに注力した結果、ライセンスとプロフェッショナルサービスの売上高は減少とのことですが、ライセンスやプロフェッショナルサービスは、将来のリカーリングサービスにつながる取引ではないのですか？

A4 認証・セキュリティサービスにおいては、ライセンスやプロフェッショナルサービスは一部リカーリングサービスにつながる取引があるものの、主にライセンスは他社のセキュリティ商材の仕入れ・販売の取引であり、プロフェッショナルサービスは脆弱性診断サービスや SI（システムインテグレーション）案件などの一時的な取引であります。そのため高成長牽引サービスとなる iTrust を中心とし戦略的にリカーリングサービスに注力しております。

Q5 iTrust は前年同期比 73%増に対して、認証・セキュリティのリカーリング売上全体では 9%増ということは、認証・セキュリティのリカーリング売上全体の中で iTrust が占める割合が低いということでしょうか？

A5 認証・セキュリティサービスのリカーリング売上に占める主要サービスの構成比として、安定高収益サービスと位置付けている SureServer、デバイス ID がございます。これらに加えて、高成長牽引サービスと位置付けている iTrust をより大きく成長させる計画となっております。今期 iTrust は計画通り成長する見込みであり、認証・セキュリティサービスに占める収益規模拡大が進んでおります。

詳細な構成比率は 2023 年 4 月 26 日発表の 2023 年 3 月期決算説明資料 P26（リカーリング売上に占める主要プロダクトの構成比率）をご参照ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4498/CaoZ/L2wd/BF40.pdf>

\* iTrust®は当社の登録商標です。

\* 登録商標 Linux® は、Linus Torvalds から排他的ライセンスを受けている The Linux Foundation からサブライセンスを受けて使用しています。

\* その他本文書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

以上